

パキスタン

テレックス回線増設事業



本事業により設置されたテレックス交換機

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	1,900百万円 / 1,351百万円
借 款 契 約 調 印	1987年9月
借 款 契 約 条 件	金利2.75%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1992年9月

[事 業 概 要]

本事業は、パキスタンの主要都市に電子式テレックス交換機を増設することにより、テレックスサービスの量的かつ質的改善を図るもの。

[評 価 結 果]

本事業は、当初の計画では16都市、9,200回線（うちカラチ3,500）の交換機増設を予定していたが、需要の変化等を踏まえて11都市、5,430回線（同3,000）に縮小して実施された。

機器の入札、製造、据付は1988年から92年にかけて行われ、1993年5月に本格稼働を開始した。現時点で完成後10年近く経過しているが、対象とした11都市のテレックス加入者数は、1991年の約700から本事業完成後の1994から96年には約4,500へと約6.5倍に増え、事業実施前に想定されていたテレックス需要への対応に寄与したものと見られる。

しかしながら、1997年以降は、加入者数は減少傾向にあり、テレックス交換機の利用率は11都市平均で97年の76%から2000年には36%まで低下した。これは計画時点では想定されなかったファックスやインターネットの普及によるものである。

今後の通信分野の事業においては、このような技術革新との関係について、より一層留意することが必要と思われる。